

## 基本的な使い方

描画色を選んで画面に指で文字を書くことで、筆談ができます。文字の太さは「設定」ボタンの中の「手書きの線を太くする」のオン・オフの切替で細／太の2種類の線の太さが切り替えられます。

描画は画面を2本指で広げる／狭める(ピンチアウト/ピンチイン)によって拡大／縮小が出来ます。(「全体表示」ボタンで一気に入りの大きさの全体表示に戻せます。)

画面は「内容の保存」ボタンで保存することができます。保存は「画像を保存」をタップし、画像として保存する方法と、「アプリ内に保存」でテンプレート化する方法があります。画像で保存した場合にはメールなどで画像を送ることができます。一方、アプリ内に保存した場合には後から呼び出すことができます。

「アプリ内に保存」すると、テンプレートとして保存されますので、「テンプレート呼出」ボタンをタップして保存されている内容を選んで再度呼び出します。よく使う内容などをくり返し使う場合に便利です。



描画面に写真や画像を貼り付けることもできます。

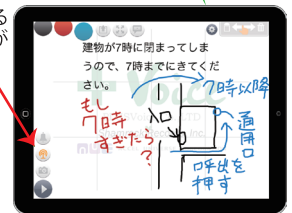
「写真貼付」ボタンをタップすると、「最近撮った一枚」「写真アルバムから選択」「写真を撮る」の3通りの方法から貼り付ける写真を選択



できます。写真は少し余白を残したサイズで貼り付けられますので、周りに説明書きをしたり、または上から文字を書き足したりして写真と文字で楽しくコミュニケーションを取ることができます。



つながっていると接続ボタンがオレンジに点灯します。



iPad、iPhone が複数台ある場合には、↑のように、「接続」ボタンをタップし、任意の同じ番号を入れることによって、端末同士を接続し、描画内容を共有することが出来ます。また接続している間は接続ボタン上の呼出ボタンによって相手呼び出しすることも出来ます (iPhone は呼出により振動します)。

※この機能は iOS の近距離通信機能を利用しているため、現在は iOS 端末のみでの提供です。

※この機能を使う際には端末の Bluetooth を「オン」にしてください。接続距離は 10m 以内程度です。

※接続している相手の文字・描画内容は消去できません。

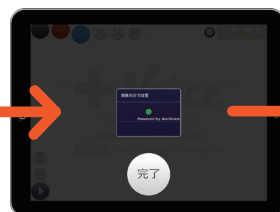
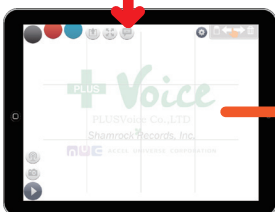
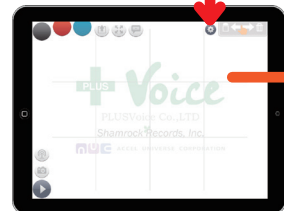
## 音声認識文字入力について

UD 手書きはアドオン「声で文字を入力」を購入することにより、AmiVoiceCloud®を利用した音声認識文字入力をご利用できます。

購入するには、設定ボタンをタップし設定ダイアログの中から

「声で文字を入力 (¥600)」の「購入」をタップします。購入が完了したら、ダイアログに「購入済み」が表示され、画面に「声で文字を入力」のボタンが現れます。

※AppleID に登録されたクレジットカードか、iTune カードでのお支払になります。



音声認識で文字を入力するには、「声で文字を入力」ボタンをタップし、マイクに向かって話かけます。話終わったら、「完了」ボタンをタップすると、描画面に文字が表示されます。この時、ゆっくり過ぎず丁寧に話すのがポイントです (方言には対応していません)。

また、あまりマイクから離れずに発話してください。周りの音と混ざると認識率が下がります。(※「声で文字を入力」のご利用にはインターネットへの接続が必須となります。)